法規・設備及び設備管理

注...意...事...項

- 1 試験開始時刻 10時00分
- 2 試験科目別終了時刻

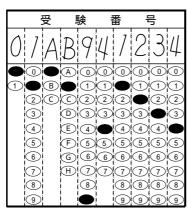
試 験 科 目	科目数	終了時刻
「法規」のみ	1 科目	1 1 時 2 0 分
「伝送交換設備(又は線路設備)及び設備管理」のみ	1 科目	1 1 時 4 0 分
「法規」及び「伝送交換設備(又は線路設備)及び設備管理」	2 科目	1 3 時 0 0 分

3 試験種別と試験科目別の問題(解答)数及び試験問題ページ

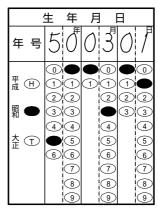
試験種別	試 騒 科 日	問題(解答)数					試験問題
日本 日	試験科目	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	ページ
伝送交換主任技術者	法規	6	7	7	6	6	1 ~ 13
	伝送交換設備及び設備管理	8	8	8	8	8	14 ~ 26
線路主任技術者	法 規	6	7	7	6	6	1 ~ 13
線路主任技術者	線路設備及び設備管理	8	8	8	8	8	27 ~ 40

- 4 受験番号等の記入とマークの仕方
- (1) マークシート(解答用紙)にあなたの受験番号、生年月日及び氏名をそれぞれ該当枠に記入してください。
- (2) 受験番号及び生年月日に該当する箇所を、それぞれマークしてください。
- (3) 生年月日の欄は、年号をマークし、生年月日に1けたの数字がある場合、十の位のけたの「0」もマークしてください。

[記入例] 受験番号 01AB941234



生年月日 昭和50年3月1日



- 5 答案作成上の注意
- (1) マークシート(解答用紙)は1枚で、2科目の解答ができます。

「法規」は赤色(左欄)、「伝送交換設備(又は線路設備)及び設備管理」(「設備及び設備管理」と略記)は緑色(右欄)です。

- (2) 解答は試験科目の解答欄の正解として選んだ番号マーク枠を、黒の鉛筆(HB又はB)で濃く塗りつぶしてください。 ボールペン、万年筆などでマークした場合は、採点されませんので、使用しないでください。
 - 一つの問いに対する解答は一つだけです。二つ以上マークした場合、その問いについては採点されません。 マークを訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。
- (3) 免除の科目がある場合は、その科目欄は記入しないでください。
- (4) 受験種別欄は、あなたが受験申請した試験種別を で囲んでください。(試験種別は次のように略記されています。)

伝送交換主任技術者は、 線路主任技術者は、 『伝 送 交 換』 『線 路』

- (5) 試験問題についての特記事項は、裏表紙に表記してあります。
- 6 合格点及び問題に対する配点
- (1) 各科目の満点は100点で、合格点は60点以上です。
- (2) 各問題の配点は、設問文の末尾に記載してあります。

マークシート(解答用紙)は、絶対に折り曲げたり、汚したりしないでください。

「次ページ以降は試験問題です。試験開始の合図があるまで、開かないでください。」

受験番号					
(控 え)					

(今後の問い合わせなどに必要になります。)

試 験 種 別	試 験 科 目
伝送交換主任技術者	伝送交換設備
法这文换土住投价省	及び設備管理

問 1	次の問いに答えよ。			(小計 2 0 点)
(1) 次の文章は、デジタル電 (エ)に最も適したものを、 ⁻			
	じ記号は、同じ解答を示す。			(2点×4=8点)
	デジタル電話交換機の より構成される。	通話路スイッチは、	一般に、時間スイッ	チと空間スイッチの組合せに
				通話メモリ、通話メモリの書 から順番に読み出し(又は書き
	込み)を行うための <u>(</u> 1 からTSIともいわれる。		1、ハイウェイ上の [(ウ) の入替えを行うこと
	複数の出ハイウェイの間	こ (工) を設け		あり、複数の入ハイウェイと 報は、制御メモリで指定され なれる
	,			
	<(ア)~(エ)の解答		ᄷᅩᆝᆔᄝ	カノミンが同盟
	フレーム ブリッジ	M F 信号 音声情報	ゲート回路 加入者情報	タイミング回路 タイムスロット

カウンタ回路

バッファ

制御信号

伸張回路

セル

アドレス

ハイブリッド回路

リードスイッチ

(2)	次の文章	章は、	衛星通	信に用い	いられ	る回線の	品質、	特性なる	どについ	て述へ	ヾたもの ⁻	である。			
	内	の(オ)	、(ナ	」)に適し	したもの	を、	下記のそ	れぞれ	の解答	群から	選び、	その番号	号を記せ	0		
													(3点)	、 2:	= 6 ,	点)

() 衛星通信回線の品質に影響を与える主なパラメータについて述べた次の文章のうち、正しい ものは、 (オ) である。

<(オ)の解答群>

衛星通信において伝搬損失を発生させる要因には、自由空間損失や大気吸収損失、降雨減衰損失などがある。自由空間損失は、一般に、波長の二乗に反比例し、 伝搬距離に比例するといわれている。

アンテナ利得は、一般に、使用するアンテナが所要の方向へ単位立体角当たりに放射する電力(Pt)に対する仮想的な等方性アンテナが同じ方向に単位立体角当たりに放射する電力(Pi)の比(Pi/Pt)で表される。

雑音指数は、回路の雑音に関する指標である。雑音指数は、回路入力の信号電力対雑音電力比を回路出力の信号電力対雑音電力比で除したものであり、出力信号電力が一定の条件では、雑音指数の値が大きいほど回路出力の雑音電力は小さくなる。

衛星通信の地球局におけるアンテナ雑音は、アンテナの大地方向のサイドローブからの雑音の影響が大きいことから、アンテナ雑音を小さくするには、サイドローブレベルを低くすることが有効である。

() デジタル衛星通信回線の品質劣化要因と対策について述べた次の文章のうち、<u>誤っているもの</u>は、 (カ) である。

<(カ)の解答群>

衛星通信装置における変復調器の不完全性の要因には、検波識別レベルの変動、 搬送波再生回路でのジッタやクロック再生回路でのジッタなどがある。衛星通信 回線の回線品質は、再生回路のジッタが小さいほど劣化する。

相互変調雑音とは、多数の信号を1台の増幅器で同時に増幅する場合に、増幅器の非直線性により発生する相互変調積成分のことである。相互変調雑音を低減する方法の一つに、使用する周波数を不等間隔とし、相互変調積成分が落ち込む周波数の使用を回避する方法がある。

小信号抑圧効果とは、大きなレベルの信号と小さなレベルの信号を同時に増幅 するとき、増幅器の非直線性により、大きなレベルの信号に影響されて、小さな レベルの信号の出力が抑圧される現象のことである。

衛星通信回線のビット誤り率を改善するために、誤り訂正符号を適用することがある。ビット誤りの訂正方法として、BCH符号の適用、畳み込み符号とビタビ復号の組合せなどがある。

(3) 次の文章は、予備電源方式の概要などについて述べたものである。 内の(キ)、(ク) に適したものを、下記のそれぞれの解答群から選び、その番号を記せ。 (3点×2 = 6点)

() 蓄電池などの予備エネルギー源について述べた次の文章のうち、<u>誤っているもの</u>は、 (+) である。

<(キ)の解答群>

鉛蓄電池やリチウムイオン二次電池などは、停電時などに瞬時にエネルギーとして活用できることから、情報通信分野における予備エネルギー源として利用される。

ディーゼル機関やガスタービンなどのエンジンと発電機を組み合わせたエンジン発電装置は、停電時などにおける長時間予備エネルギー源として利用される。

大規模な通信ビル又は保守拠点からの駆けつけ時間が長い、離島、豪雪地帯などの通信ビルでは、一般に、予備エネルギー源として短時間予備エネルギー源と 長時間予備エネルギー源とを組み合せて設置される。

予備エネルギー源の設計において、エンジン発電装置の連続運転時間は、通信 設備の負荷容量、通信ビル特有の条件などを考慮して決定される。

予備エネルギー源として蓄電池とエンジン発電装置が併設される場合、蓄電池の最小保持時間は、一般に、エンジン発電装置が負荷設備に電力を供給するまでに要する時間とされ、2時間程度が見込まれている。

() 同期発電機について述べた次の文章のうち、正しいものは、 (ク) である。

<(ク)の解答群>

回転電機子形同期発電機は、電機子が回転する構造であり、一般に、アーク、 火花などが生じやすい一方、スリップリング(滑動環)が不要なため、小容量の 低圧発電機に適用されることが多い。

回転界磁形同期発電機では、電機子巻線がケーシングに固定されており、これは界磁巻線といわれる。

同期発電機の界磁に励磁電流を供給する方式として、ブラシレス励磁方式がある。この方式は、整流器を回転子に搭載し、固定界磁を用いた交流励磁機と組み合わせて、励磁電流の供給を行っている。

同期発電機の効率は、同期発電機自体の損失に影響される。同期発電機の損失は、負荷電流により変動する負荷損と負荷電流に関係しない固定損に大別され、うず電流損やヒステリシス損は、負荷損に分類される。

同期発電機の回転速度は、発電機の極数及び電源の周波数により決定され、 これらの関係は、一般に、次式で表される。

b	次の文章は、VoIPのホ たものを、下記の解答群が 解答を示す。			D(ア)~(エ)に最も適 内の同じ記号は、同 (2 点×4 = 8 点)
		タラクティブ通信のため <i>N</i> G 制御プロトコルなどに	· <u></u>	(ア) プロトコル、
		は、発信側からの要求にJ		北 チョラル/海信店
	·			·
	線)の設定・切断機能、エ	ンド・ツー・エンドで 📙	<u>(イ)</u> フロトコルが!	動作する環境や条件を
	調整するなどの機能を有し	しており、ISDNユーサ	げ・網インタフェース値	言号方式をベースにし
	た (ウ) 、HTTPの	Dメッセージフォーマット	、などをベースにした S	SIPがある。
	SIPにおける (工)	は、SIPユーザエ-	-ジェントとSIPユ-	- ザエージェントの間
	にあって、端末の代理とし	— 」てセッションを制御する		
! !	<(ア)~(エ)の解答群>			
; ;	АТМ	H.223	H.264	H.323
; ; ;	SNMP	Webサーバ	ゲートキーパ	デジタル交換機
! ! !	呼情報	プロキシサーバ	パケット通信	呼制御
; ; ;	呼番号	高度IN	情報転送	保守運用
	'			

(2) 次の文章は、MPLS方式の概要について述べたものである。 内の(オ)、(カ)に適したものを、下記のそれぞれの解答群から選び、その番号を記せ。 (3点×2 = 6点)

() MPLS方式の構成、主要技術などについて述べた次の文章のうち、正しいものは、 (オ) である。

<(オ)の解答群>

MPLSネットワークにおけるコアLSRは、MPLSネットワークと非MPLSネットワークの境界に配置されるLSRである。

既存のATMやフレーム・リレーなどにおいて、MPLSのためのラベル値の書き込みフィールドとしては、ヘッダ内のVPI/VCIフィールドやDLCIフィールドが用いられる。

MPLSのためのラベルの書き込みフィールドとして新しく定義されたシム・ヘッダは、128ビットの固定長フィールドであり、ラベルフィールドとして24ビットが割り当てられている。

MPLSネットワークでは、ラベル値の書き込み、読み出しを行うため、 レイヤ3で行われるパケット転送方式と比較して、パケット転送遅延が大きい。 () MPLS方式において用いられるパケット転送技術について述べた次の文章のうち、誤って いるものは、 $\boxed{ (カ) }$ である。

<(カ)の解答群>

MPLSネットワークのLSRにおいて、IPヘッダ内のDFビットが"1"以外のとき、受信パケット(フレーム)に対してラベルを追加することによって、ペイロード長が定義されている最大値を超えると判断すると、そのパケット(フレーム)を二つに分割する処理が行われる。

MPLSに用いられるラベル・スタッキング技術において、ラベルスタック内のラベル操作は、最初に挿入したラベルが最初に取り出される仕組みであるFIFO (First-In First-Out)方式によって行われる。

MPLS-ATMにおいて、転送されたATMセルを受信するATM-LSRは、それらのATMセルのすべてを受信するまで内部のバッファへ蓄積し、蓄積したATMセルをパケットへ再構築する方法はVCマージングといわれる。

ATM-LSR上でのVPマージングは、受信したATMセルを内部のバッファ へ蓄積しないため、VCマージングと比較して、パケットの転送遅延時間は小さい。

(3)	次の文章は、TTC標準	における次 [・]	世代ネットワ	フーク (NGN)のアーキ	Fテクチャの概要など
	について述べたものである	o	内の(キ)、	(ク)に適したものを、	下記のそれぞれの解
	答群から選び、その番号を	記せ。			(3点×2=6点)

() NGNの	構成などについて述べた次の文章のうち	、 <u>誤っているもの</u> は、	(丰)	である。
----------	--------------------	---------------------	-----	------

<(キ)の解答群>

NGNの機能は、上位層のサービスストラタム及び下位層のトランスポートストラタムの二つに分類される。

サービスストラタムは、ユーザへ提供するサービスに関する制御を中心に行い、 アプリケーション / サービス・サポート機能とサービス制御機能とに分けられる。 トランスポートストラタムは、IPパケットを高速に転送するための機能など を有しており、トランスポート機能とトランスポート制御機能とに分けられる。

トランスポート機能では、ユーザ端末の認証や端末へのIPアドレスの割当てやサービス品質の保証を行っており、リソース/受付制御機能を有するRACF (Resource and Admission Control Functions)とネットワーク接続制御機能を有するNACF (Network Attachment Control Functions)とに分けられる。

() NGNのインタフェースについて述べた次のA~Cの文章は、	(ク)	1.
----------------------------------	-----	----

- A NGNでは、ANI (Application Network Interface)、NNI (Network-to-Network Interface)及びUNI (User-to-Network Interface)の三つのインタフェースが規定されている。
- B ANIは、アプリケーションとNGNのアプリケーション / サービス・サポート機能との 間で、情報交換などを実現するためのインタフェースである。
- C UNI及びNNIは、ユーザ端末あるいはホームネットワークとNGNを相互接続するためのインタフェースである。

<(ク)の解答群>		
Aのみ正しい	Bのみ正しい	Cのみ正しい
A、Bが正しい	A、Cが正しい	B、Cが正しい
A、B、Cいずれも正	LII A.B.	Cいずれも正しくない

問3 次の問いに答えよ。

(小計20点)

(1) 次の文章は、システムの信頼性を向上させるための設計技術の一つとして用いられる冗長構成について述べたものである。 内の(ア)~(エ)に最も適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。 (2点×4=8点)

冗長性の付加方法には、ハードウエアによる方法とソフトウエアによる方法がある。

ハードウエアによる冗長構成は、常用冗長と待機冗長に大別され、常用冗長は、更に、並列 冗長と (ア) に分けられる。並列冗長構成における並列冗長系には、系並列冗長系と要素 並列冗長系があり、一般に、要素並列冗長系の信頼度は、系並列冗長系と比較して (イ) 場合が多い。

ソフトウエアによる冗長構成には、 (ウ) などを行う時間冗長と情報コードに誤り検出符号などを付加する情報冗長などがある。また、ソフトウエアによる冗長性の付加は、サブシステムが故障したとき、あらかじめ定められた安全な状態となるようなフェールセーフといわれる設計上の手法を用いて作業者の (エ) の手段として利用される場合もある。

<(ア)~(エ)の解答群>			 !
切換	冗長 遅延処	理 多様性	冗長 作業引	≦順の省略
熱予	備 多数決	冗長 パラレ	ル処理 労働時	持間の短縮
再試	行 蓄積処	理 安全性	の確保 劣化品	対障の予測
高く	なる 低くな	る 変化し	ない	, , ,

(2)	次の文章は、	JIS	Z 8 1	15デ	ィペング	ダビリティ	(信頼性)	用語につい	て述べた	もので	ある。
	内(の(オ)、	(カ)に適	したもの	のを、下	記のそれ	ぞれの解領	答群から選び	び、その	番号を記	記せ。
									(3点)	4 2 = 6	点)

() 設計に関する用語について述べた次の文章のうち、正しいものは、 (オ) である。

<(オ)の解答群>

温予備とは、待機手段が作動状態にあるけれども、システムには機能的に接続されていない待機冗長の形式のことである。

冷予備とは、待機手段が作動状態になくて、システムにも機能的に接続されていない常用冗長の形式のことである。

m/n冗長とは、m個の同じ機能の構成要素中、少なくともn個が正常に動作していれば、アイテムが正常に動作するように構成してある常用冗長のことである。

多様性冗長とは、異なる手段によって、同一の機能を実現する冗長のことである。

部分冗長とは、可能な手段のうちの一つだけが要求機能を果たすのに必要である常用冗長の形式のことである。

() 設計に関する用語について述べた次の文章のうち、<u>誤っているもの</u>は、 (カ) である。

<(カ)の解答群>

フォールトトレランスとは、放置しておけば故障に至るようなフォールトや誤りが存在しても、要求機能の遂行を可能にするアイテムの属性のことである。

フォールトマスキングとは、あるフォールトがアイテムの中の下位アイテムに存在してもアイテムの特徴によって、その存在を認識させないような状態又はあるフォールトが存在しても、別のフォールトによってその存在が認識されないような状態のことである。

フォールトアボイダンスとは、製造、設計などにおいて、アイテム及び構成要素にフォールトが発生しないようにする方法又は技術のことである。

フェールソフトとは、フォールトが存在しても、機能又は性能を縮退しながら アイテムが要求機能を遂行し続ける、設計上の性質のことである。

損傷許容設計とは、アイテムの目標寿命以内では故障が生じないように配慮する設計のことである。

(3)	次の文章は、QC	こ7つ道具のパレート	・図及びヒストグラ♪	ムについて述べた	こものである。
	内の(キ)、	、(ク)に適したものを	、下記のそれぞれの觘	解答群から選び、	その番号を記せ。
				(3	s点×2=6点)

- () パレート図について述べた次の A ~ C の文章は、 (+) 。
 - A パレート図は、項目を横軸に、度数を縦軸に取るとともに度数の多い項目から順に並べ、かつ、ロジスティック曲線を併記したもので、不良、欠点などを原因別、状態別、位置別などで層別した結果を示すために用いられる。
 - B パレート図を用いることにより、ある項目が全体のどの程度を占めているか、どの項目が 最も問題なのかなどを知ることができる。
 - C 改善前のパレート図と改善後のパレート図の目盛を合わせて作図し、横に並べてみること により、改善効果を評価することができる。

<(キ)の解答群>

Aのみ正しいBのみ正しいCのみ正しいA、Bが正しいA、Cが正しいB、Cが正しいA、B、Cいずれも正しいA、B、Cいずれも正しくない

- () ヒストグラムについて述べた次のA~Cの文章は、 (ク) 。
 - A ヒストグラムは、データの存在する範囲を幾つかの区間に分け、各区間を底辺としその区間に属するデータの出現度数に比例する面積を持つ柱(長方形)を並べたもので、母集団の分布の形などを把握するためなどに用いられる。
 - B データを機械別、原材料別、作業方法別などに層別し、層別されたデータを基にヒストグラムを作成・比較することにより、全体のヒストグラムではよくわからない母集団のバラツキやカタヨリなどを知ることができる。
 - C ヒストグラムの典型的な形の一つである右スソ引き型は、規格以下のものを全数選別して、 取り除いた場合に現れる。

<(ク)の解答群>

Aのみ正しいBのみ正しいCのみ正しいA、Bが正しいA、Cが正しいB、Cが正しいA、B、Cいずれも正しいA、B、Cいずれも正しくない

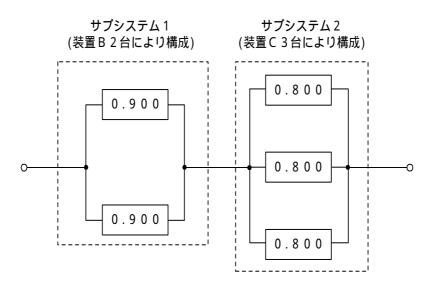
(1)	次の文章は、	システムの信頼性及	び安全性の予測的解	析法の概要について述べ	にものである。
	内 <i>の</i>)(ア)~(エ)に最も適	したものを、下記の	解答群から選び、その番	号を記せ。ただ
	し、	内の同じ記号は、同	じ解答を示す。	(2点×4=8点)
	システムの)故障や事故を未然に	防ぐため、システム	の信頼性や安全性につい	1て、あらかじめ
	危険度を予測	削し、事前に対策を立	[案することが多く行	見われており、そのため	の解析手法に、
	FMEA#	(ア) などがある	。このうち、 FME	Aは、システムを構成す	- る部品などに故
	障が発生した	:場合にシステムにど	の程度影響を与える	かを解析する手法である) o
	(ア)	は、FMEAとは逆	に、 (イ) 手法	であり、一般に、 (ウ	り 的な解析が
	行える手法で	ぎある。 (ア) で	は、システムに起こ	り得る望ましくない事象	を初めに定義す
	る。そして、	これを発生させる原	因事象に展開し、さ	らにこの原因事象の原因	となる事象とい
	うように展開	見を繰り返し、根本原	因となる基本事象に	まで分解していくという	方法を採る。こ
	のとき、上位	事象と下位事象の因	果関係は、 (エ)	こより表現される。	
	<(ア)~(.	エ)の解答群>			
	E	ТА	FMECA	FTA	HAZOP
	 	ップダウンの	ブロック図	ボトムアップの	簡略な
	帰	約	算術記号	相 対	定性
	定	量	矢線図	二重チェックの	論理記号
	'				

(2) 次の文章は、10,000個のメモリ素子を組み込んだ基板Aの信頼性について述べたものである。 内の(オ)、(カ)に最も適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。ただし、基板Aは偶発故障期間にあるものとし、log ∈ 0.99 = -0.01、e -0.05 = 0.95
とする。 (3点×2 = 6点)

基板 A の使用開始後 1 0 0 時間における信頼度が 0 . 9 9 であるとき、メモリ素子 1 個の故障率は、 (オ) [FIT]である。また、この基板 A の使用開始後 5 0 0 時間以内に故障する確率は、 (カ) [%]である。ただし、メモリ素子個々の故障率は同一値とする。

<(オ)、(カ)の解答群	:>		
1 × 1 0 - 8	9.9 × 10 - 7	1 × 1 0 - 4	5
1 0	2 0	5 0	8 0
9 5	9 9 0	1 × 1 0 ⁵	; ; ;

(3) 次の文章は、あるシステムの信頼度について述べたものである。 内の(キ)、(ク)に最も適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。ただし、下図は信頼度に関する概念図であり、図中の 内の数字はそれぞれの構成装置の信頼度を示している。なお、答えは、四捨五入により小数第3位までとする。 (3点×2=6点)



- () 装置 B 2 台からなる二重化されたサブシステム 1 (1 / 2 冗長構成)の信頼度は、 (キ) である。
- () 装置 B 2 台からなる二重化されたサブシステム 1 (1 / 2 冗長構成)と装置 C 3 台からなるサ ブシステム 2 (2 / 3 多数決冗長構成)を接続した全体のシステムの信頼度は、 (ク) である。

<(キ)、(ク)の解答群>			
0.810	0.879	0.887	0.910
0.950	0.972	0.982	0.990

(1) 次の文章は、D	NSセキュリティ	ィについて述べたものである	る。 内の(ア)~(エ)に最
も適したものを、	下記の解答群から	ら選び、その番号を記せ。7	ただし、 内の同じ記号は、
同じ解答を示す。			(2点×4=8点)
インターネッ	トなどで名前解決	央を行うDNSサーバには、	ドメインの原本情報を管理するコ
ンテンツサーバ	こと、クライアント	・に代わって代理で名前解決	し、その結果を内部にキャッシュす
るキャッシュサ	ーバの2種類がす	あり、これらが連携して、「	DNSサービスを実現している。名
前解決の流れの)中で、 (ア)	といわれる攻撃を受ける。	ことがある。 (ア) は、本物の
コンテンツサー	・バからの返答よ!)も先に偽装した返答をキ [・]	ャッシュサーバに送り、偽情報を記
憶させる攻撃で	である。偽の情報は	こ書き換えられると、被害を	を受けたキャッシュサーバの利用者
は正しいURL	L やメールアドレ	スを入力しているにもか	かわらず、攻撃者が用意した偽の
Webサイトな	ょどに誘導されて	しまい、暗証番号やクレシ	ットカード番号などが搾取される
(イ) やメ	スールの情報漏洩の	D被害を受けるおそれがある	3 .
(ア) 対	対策として、DNS	のセキュリティを向上させ	るための拡張仕様である (ウ)
を利用する、コ	コンテンツサーバは	は (工) 動作を無効にす	する、キャッシュサーバはファイア
ウォールのパケ	·ットフィルタリン	ッグ機能を用いてイントラ ²	ネットからの (工) 動作のみを
許可するように	制限するなどのプ	う法がある 。	
<(ア)~(エ))の解答群>		
常	時	フィッシング詐欺	DNSキャッシュポイズニング
割;	<u>iλ</u>	再帰問い合わせ	クロスサイトスクリプティング
自動	実行	DNS amp	セッションハイジャック
スキ	ミング	DNSSEC	コンピュータフォレンジック

トラッシング ワンクリック詐欺 DNSラウンドロビン

_____ 内の(オ)に適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。 (2) 次の問いの (3点)

- A ハッシュ関数は、任意長の入力データを圧縮し、固定長のデータを出力する関数であり、 代表的なものとして、DSAがある。
- B ハッシュ関数は、主に、検索の高速化、データ比較処理の高速化、改ざんの検出などに使 用される。例えば、データベース内の項目を探したり、大きなファイル内で重複しているレ コードや似ているレコードを検出したりする場合に利用できる。
- C デジタル署名で用いられるハッシュ関数の満たさなければならない要件としては、ハッシ ュ値から入力情報を知り得ない一方向性、同じハッシュ値を持つ異なる入力組を見つけるこ とが困難である衝突困難性などがある。

<(オ)の解答群>

Aのみ正しい

Bのみ正しい

Cのみ正しい

A、Bが正しい

A、Cが正しい

B、Cが正しい

 $A \times B \times C$ いずれも正しい $A \times B \times C$ いずれも正しくない

(3) 次の問いの 内の(カ)に適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。 (3点)

セキュリティプロトコルについて述べた次の文章のうち、正しいものは、┃(カ)┃である。

<(カ)の解答群>

S/MIMEは、電子メールのセキュリティ機能を強化するプロトコルであ る。S/MIMEを用いた電子メールでは、送信者は、電子メールのメッセー ジを公開鍵で暗号化し、その鍵を送信相手の共通鍵を用いて暗号化している。

SSHは、TCP/IPネットワーク上において暗号化機能と認証機能によ リセキュアなリモートログインを提供できるが、ファイル転送機能は有してい ない。

SSLは、OSI参照モデルのネットワーク層のプロトコルであるため、 HTTPやSMTPは、SSLを用いた通信路上を透過的に利用することがで きる。

IPSecには、トンネルモードとトランスポートモードの二つのモードが ある。このうち、トンネルモードによる通信では、送信するIPパケットのへ ッダ部を含め暗号化している。

(4) 次の問いの 内の(キ)に適したものを、下記の解答群から選び、その番号を記せ。 (3点)

イーサネットのセキュリティ対策について述べた次の文章のうち、<u>誤っているもの</u>は、 <mark> ̄ (キ) 】</mark> である。

<(キ)の解答群>

ポートベースVLANは、LANスイッチのポート単位でサブネットを分ける方式であり、異なるサブネットの間はイーサネットフレームが流れなくなるので、セキュリティの確保に有効である。

LANスイッチのポートへの接続を許可する機器のMACアドレスをLAN スイッチに設定しておき、そのMACアドレス以外の機器の接続を防止する機 能は送信元MACアドレスフィルタリングといわれる。

IEEE802.1Xは、有線LANに接続するパーソナルコンピュータなどを認証するために用いられる技術であり、無線LANでは用いられない。

IEEE802.1Xに対応したLANスイッチのポートでIEEE802.1Xが有効な場合、LANスイッチのポートに端末が接続されるときに認証を行い、認証に成功した場合のみ、そのポートに接続することが可能になる。

LANのセキュリティを確保するために、1台のLANスイッチでポートベースVLANを用いてサブネットを分ける方法以外に、サブネットごとに物理的に別のスイッチを使用する方法がある。

(5)	次の問いの	内の(ク)に適し	したものを、	下記の解答群から選び、	その番号を記せ。
					(3点)

データの保護などについて述べた次の文章のうち、 $<u>誤っているもの</u>は、<math>\underline{\hspace{0.2cm}}(2)$ である。

<(ク)の解答群>

データを保護する方法として、任意のファイルを暗号化ソフトで暗号化する方法、 ZIP圧縮時にパスワード設定する方法などがある。

アプリケーション自体に、読み取りや書き込みのためのパスワードを設定する機能を備えているものがある。

ファイルシステムの暗号化は、一般に、OSとの親和性が高く、ユーザに暗号化を意識させないというメリットがあるが、ファイルの読み取りや書き込みのためにパーソナルコンピュータ(PC)のパフォーマンスが低下するおそれがある。

NTFSが持つ暗号化機能であるRSAでは、暗号化属性が付加されたファイルがハードディスク上に暗号化された状態で記録される。

試験問題についての特記事項

- (1) 試験問題に記載されている製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。 なお、試験問題では、® 及び TM を明記していません。
- (2) 問題文及び図中などで使用しているデータは、すべて架空のものです。
- (3) 試験問題、図中の抵抗器及びトランジスタの表記は、旧図記号を用いています。

新 図 記 号	旧図記号

新図記号	旧図記号

- (4) 論理回路の記号は、MIL記号を用いています。
- (5) 試験問題では、常用漢字を使用することを基本としていますが、次の例に示す専門的用語などについては、 常用漢字以外も用いています。

[例]・迂回(うかい)・鍵(かぎ)・筐体(きょうたい)・桁(けた)・躾(しつけ)・充填(じゅうてん)・輻輳(ふくそう)・撚り(より)・漏洩(ろうえい) など

- (6) バイト[Byte]は、デジタル通信において情報の大きさを表すために使われる単位であり、一般に、2進数の 8桁、8ビット[Bit]です。
- (7) 情報通信の分野では、8ビットを表すためにバイトではなくオクテットが使われますが、試験問題では、一般に、使われる頻度が高いバイトも用いています。
- (8) 法令に表記されている「メグオーム」は、「メガオーム」と同じ単位です。
- (9) 試験問題のうち、正誤を問う設問において、句読点の有無など日本語表記上若しくは日本語文法上の誤り だけで誤り文とするような出題はしておりません。